別紙４（放射性同位元素装備診療機器）

１　放射性同位元素装備診療機器に関する事項

|  |  |
| --- | --- |
| 製作者名 |  |
| 型式 |  |
| 台数 |  |
| 合計数量（GBq） |  |
| 用途 | □骨塩定量分析用　□輸血用輸血照射用□ガスクロマトグラフ用 |
| 装備する放射性同位元素の種類 | □１２５Ｉ　□２４１Ａｍ　□１５３Ｇｄ（骨塩提供分析装置）□１３７Ｃｓ（輸血用血液照射装置）□６３Ｎｉ（ガスクロマトグラフ用ＥＣＤ） |
| 装備する放射性同位元素の数量（MBq又はTBq） |  |

２　放射線同位元素装備診療機器の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 骨塩定量分析装置 | 装備する放射性同位元素の数量が0.11TBq以下 | 適　　・　　否 |
| 機器を使用しないときの機器表面の実効線量率が600nSv/時以下になる構造 | 有　　・　　無 |
| 機器使用時の機器から１ｍの距離における実効線量率が６µSv/時以下になる構造 | 有　　・　　無 |
| 線源収納容器 | 耐火構造 | 有　　・　　無 |
| 線源を容易に取り外しができず、かつ、線源が脱落するおそれのない構造 | 有　　・　　無 |
| 機器表面に放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示 | 有　　・　　無 |
| ガスクロマトグラフ用ＥＣＤ | 装備する放射性同位元素の数量が740MBq以下 | 適　　・　　否 |
| 機器表面の実効線量率が600nSv/時以下になる構造 | 有　　・　　無 |
| 線源収納容器 | 耐火構造 | 有　　・　　無 |
| 線源を容易に取り外しができす、かつ、線源が脱落するおそれのない構造 | 有　　・　　無 |
| 導入口及び排出口のキャップ等による密閉構造 | 有　　・　　無 |
| ねじ等による機器への固定構造 | 有　　・　　無 |
| 機器表面に放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示 |  |
| 輸血用血液照射装置 | 装備する放射性同位元素の数量が200TBq以下 | 適　　・　　否 |
| 機器から１ｍの距離における実効線量率が6µSv/時以下になる構造 |  |
| 線源収納容器 | 耐火構造 |  |
| 線源を容易に取り外しができず、かつ、線源が脱落するおそれのない構造 |  |
| 機器に固定されていて、容易に取り外しができない構造 |  |
| 機器開口部の解放時のしゃへい構造 |  |
| 放射線発生時の自動表示装置 |  |
| 機器開口部の鍵等の閉鎖設備・器具 |  |
| 機器表面に放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示 |  |

３　放射性同位元素装備診療機器使用室の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 使用室名 |  |
| 主要構造部等の耐火性 | 耐火構造　・　不燃材料を用いた構造 |
| 画壁等の材質及び厚さ等 | 区分 | 構造 | 材料 | 厚さ（ｍｍ） |
| 天井 |  |  |  |
| 周囲の画壁 | 東面 |  |  |  |
| 西面 |  |  |  |
| 南面 |  |  |  |
| 北面 |  |  |  |
| 床 |  |  |  |
| 出入口の扉 |  |  |  |
| 画壁等の外側における実効線量を１mSv／週以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 出入口の鍵等の閉鎖設備・器具 | 有　　・　　無 |
| 放射線発生時の自動表示装置 |  |
| 使用室である旨を示す標識 |  |
| 放射線障害防止に必要な注意事項の掲示 | 有　　・　　無 |
| 放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示 | 有　　・　　無 |
| 管理区域境界 | 実効線量を1.3mSv／３月以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 管理区域の旨を示す標識 | 有　　・　　無 |
| 管理区域への立入制限措置 | 有　　・　　無 |
| 居住区域及び敷地境界の実効線量を250µSv／３月以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 入院患者の被ばくする実効線量を1.3mSv／３月以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 放射線診療従事者等の防護措置（放射線防護用具等） | □防護衣（　　　　ｍｍＰｂ）□防護衝立（　　　　ｍｍＰｂ）□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 放射線診療従事者等の被ばく線量の測定方法 | □ＯＳＬ線量計　□蛍光ガラス線量計□電子式ポケット線量計　□ＴＬＤ□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

４　放射線を人体に対して照射する放射性同位元素装備診療機器を使用する医師、歯科医師又は診療放射線技師の氏名及び放射線診療に関する経歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 職種 | 籍登録年月日及び登録番号 | 放射線診療に関する経歴 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

注意事項

１　放射性同位元素装備診療機器を使用する医師等の氏名欄には、従事する全員の氏名を記入すること。

２　隣接室、上階及び下階の室名、周囲の状況並びに管理区域の標識の位置を明記した放射性同位元　素装備診療機器使用室の平面図及び側面図を添付すること。（図面は、線源の位置、線源から天井、　床及び周囲の画壁等の外側までの距離（ｍ）並びに画壁等の材質、厚さ及び縮尺を記入した縮図とする。）

３　放射性同位元素装備診療機器使用室と居住区域、敷地境界及び病室の関係がわかる図面を添付す　ること。（図面は、線源からの距離（ｍ）、縮尺及び方位を記入した縮図とすること。）

４　放射性同位元素装備診療機器使用室等の構造設備が法令の基準に適合することを示す計算書を添付すること。